

2003年3月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球500 hPa 高度では、北米からユーラシア大陸にかけて波列状の偏差が分布し、前月に引き続いてヨーロッパ北部、モンゴル付近は正偏差、カナダ東部、西・中央シベリアは負偏差となった。これらの偏差の位相は前月より全体的に西側にシフトした。黒海付近から地中海東部にかけてトラフ場となり、負偏差が分布した。太平洋中緯度帯、北米北部から大西洋北部にかけては負偏差となった。

対流活動は、太平洋西部から東部にかけての ITCZ (赤道収束帯) は年より活発だった。一方、太平洋中部から東部における南半球側の ITCZ は不明瞭だった。SPCZ (南太平洋収束帯) は前月に引き続き年より東偏して明瞭だったものの、日付変更線付近の負偏差域は前月より全体的に西側へ移動した。その他インドネシア付近では年並からやや活発、スマトラ島の南西海上からオーストラリア北部では年より不活発、インド洋中部では年より活発だった。

200 hPa 速度ポテンシャルの分布図では、太平洋西部の大規模発散域の中心はニューギニア島の東海上に位置し、発散の強い領域は全体的に年よりやや西寄

りだった。

SOI (南方振動指数) は -0.3 となり、2002年3月以降負の値が続いている。

世界の天候

- ① 中央アジアの多雨
- ② インドネシア付近の多雨

月末にインドネシア東部で洪水や地滑りにより約50人が死亡したと報じられた。

- ③ ヨーロッパの少雨
- ④ アイスランドからスペイン北部の高温
- ⑤ トルコからエジプトの低温

トルコ西部のバルケシルでは、月平均気温が -4.5°C で年より 4.0°C 低かった。

- ⑥ トルコ東部からイスラエルの多雨

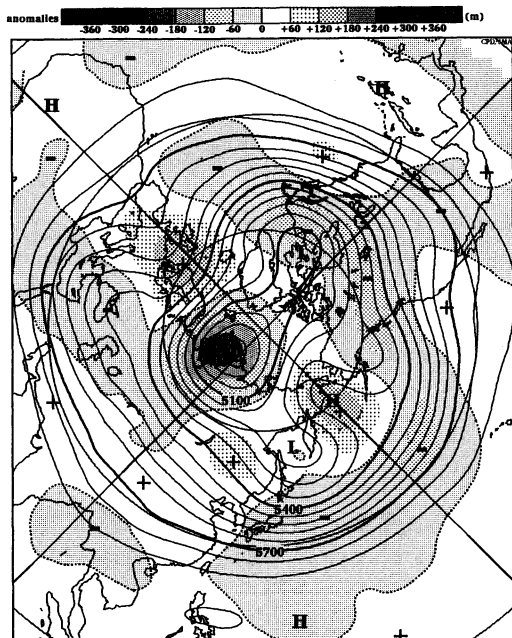
シリアの首都ダマスカスでは、月降水量が年約の12倍にあたる297 mm だった。

- ⑦ カリブ海周辺の高温

フロリダ半島のマイアミでは、月平均気温が 25.9°C で年より 3.5°C 高かった。

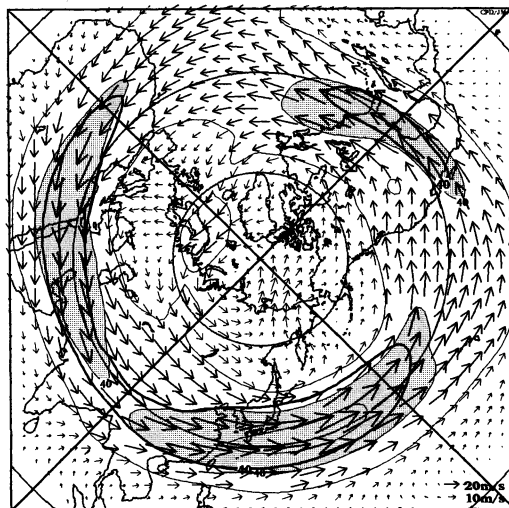
- ⑧ ミクロネシア・メラネシア東部の高温

(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 村上喜章)



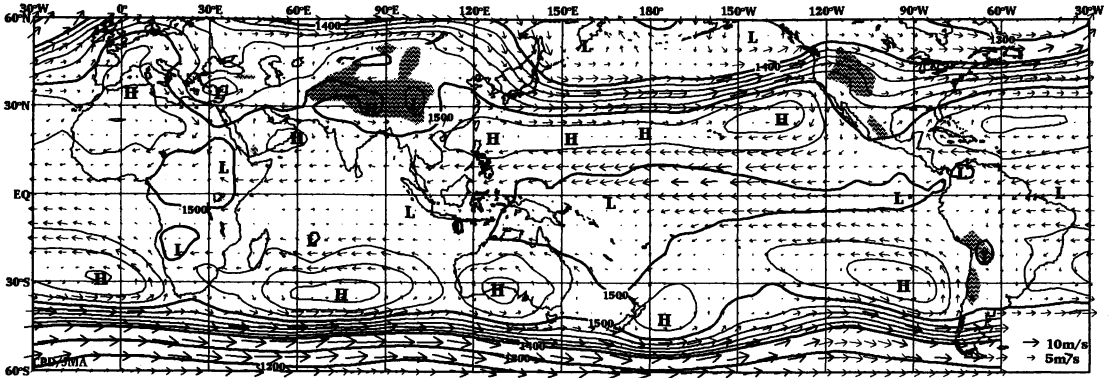
2003年3月の北半球月平均500 hPa 高度および年偏差

等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は60 m, 年偏差は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。

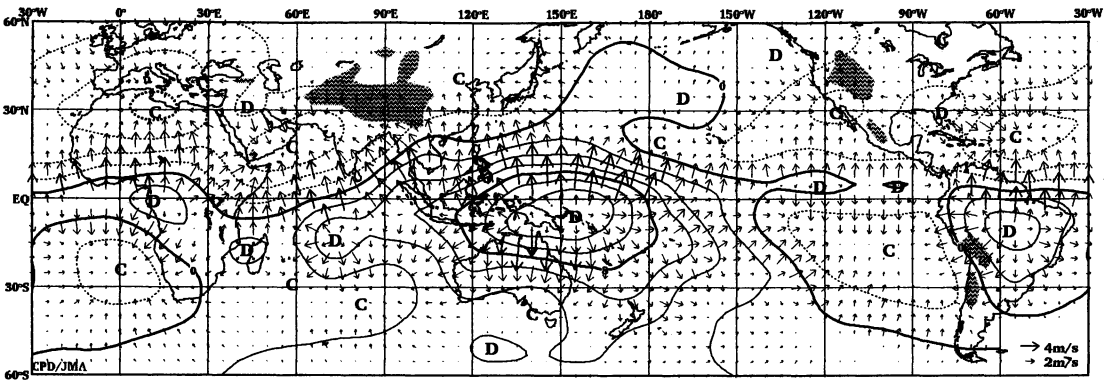


2003年3月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル

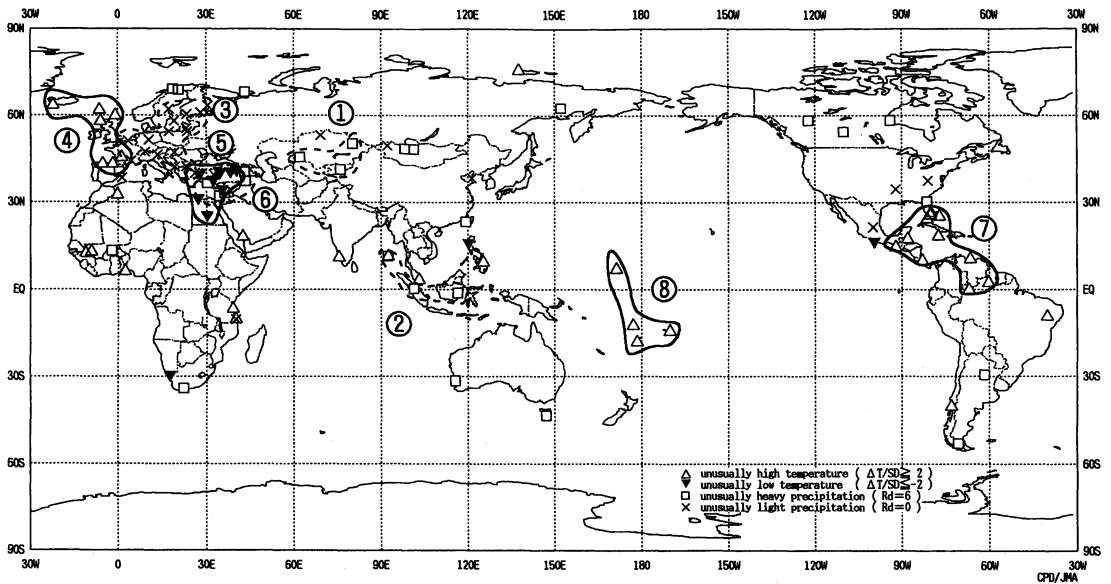
等値線間隔は20 m/s, 陰影部は40 m/s以上, 太実線で囲まれた領域は年約の40 m/s以上の領域を示す。年偏差は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。



2003年3月の月平均850 hPa高度及び風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



2003年3月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



2003年3月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.